

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2023年6月30日
【事業年度】	第180期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	日本坩堝株式会社
【英訳名】	Nippon Crucible Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西村 有司
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年6月26日に提出しました第180期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものではありません。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,282,045	3,042,024	397,333	9,721,402	-	9,721,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	84,750	-	-	84,750	84,750	-
計	6,366,795	3,042,024	397,333	9,806,152	84,750	9,721,402
セグメント利益	581,743	301,476	211,972	1,095,191	537,257	557,934
セグメント資産	<u>6,178,036</u>	<u>551,241</u>	<u>1,747,095</u>	<u>8,476,372</u>	<u>2,830,728</u>	11,307,100
その他の項目						
減価償却費	181,034	9,068	101,680	291,782	31,296	323,078
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	-	21,812
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	376,723	6,712	-	383,435	96,847	480,282

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額 537,257千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,830,728千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。

(3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,740,223	3,096,759	406,058	9,243,040	-	9,243,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,656	-	-	100,656	100,656	-
計	5,840,879	3,096,759	406,058	9,343,696	100,656	9,243,040
セグメント利益	345,984	357,877	217,289	921,150	534,801	386,349
セグメント資産	5,880,782	431,486	1,649,326	7,961,594	2,965,328	10,926,922
その他の項目						
減価償却費	230,305	7,847	96,089	334,241	33,922	368,163
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	-	21,812
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	223,541	10,318	-	233,859	15,829	249,688

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額 534,801千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,965,328千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。

(3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,282,045	3,042,024	397,333	9,721,402	-	9,721,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	84,750	-	-	84,750	84,750	-
計	6,366,795	3,042,024	397,333	9,806,152	84,750	9,721,402
セグメント利益	581,743	301,476	211,972	1,095,191	537,257	557,934
セグメント資産	5,719,696	1,829,028	1,756,189	9,304,913	2,002,187	11,307,100
その他の項目						
減価償却費	181,034	9,068	101,680	291,782	31,296	323,078
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	-	21,812
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	376,723	6,712	-	383,435	96,847	480,282

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額 537,257千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,002,187千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。
- (3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	耐火物	エンジニア リング	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,740,223	3,096,759	406,058	9,243,040	-	9,243,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,656	-	-	100,656	100,656	-
計	5,840,879	3,096,759	406,058	9,343,696	100,656	9,243,040
セグメント利益	345,984	357,877	217,289	921,150	534,801	386,349
セグメント資産	5,401,922	1,693,344	1,654,889	8,750,156	2,176,766	10,926,922
その他の項目						
減価償却費	230,305	7,847	96,089	334,241	33,922	368,163
のれん償却額	-	21,812	-	21,812	-	21,812
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	223,541	10,318	-	233,859	15,829	249,688

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額 534,801千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,176,766千円は、全社資産及びセグメント間消去等を含んでおります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない共用資産、投資その他の資産が含まれております。

(3) その他の項目の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。